

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以

問合せ先責任者 (役職名) 本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	62,925	23.8	4,598	111.0	4,324	102.1	2,863	44.2
2019年3月期第1四半期	50,826	17.5	2,179	27.1	2,139	28.5	1,985	88.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,917百万円 (265.5%) 2019年3月期第1四半期 798百万円 (△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	65.87	—
2019年3月期第1四半期	45.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	258,908	155,346	56.0
2019年3月期	261,590	153,781	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 144,888百万円 2019年3月期 143,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	125,000	12.9	9,000	108.2	8,500	113.7	5,500	81.1	126.56
通期	255,000	5.3	11,000	19.6	10,500	21.4	7,000	7.6	161.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	44,898,730株	2019年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,439,725株	2019年3月期	1,439,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	43,459,022株	2019年3月期1Q	43,405,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、堅調な企業収益と雇用環境の改善が続く中で、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦の影響から世界経済は先行き不透明な状態が続いております。

当社グループの主要需要先である国内建設用鋼材市場では、建築・土木分野ともに需要は堅調に推移しました。また、原材料である鉄スクラップについては、年初から続いていた価格上昇が止まり、4月以降市況軟化が続いたことから、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格の差額）は拡大しました。海外鉄鋼事業については、米国においては前期後半の製品市況の過熱感は落ち着きつつあるものの、業績は引き続き好調に推移しました。ベトナムにおいては、前期後半より下落傾向であった製品市況が年明けに底打ち反転したことなどから前年同期に比べ業績は堅調でした。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比12,099百万円（23.8%）増収の62,925百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比2,419百万円（111.0%）増益の4,598百万円、連結経常利益は同2,185百万円（102.1%）増益の4,324百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同877百万円（44.2%）増益の2,863百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比微増の43.1万トンとなりました。鉄スクラップ価格は前年同期対比トン当たり2.6千円（7.3%）下落した一方、製品価格が同4.2千円（6.4%）上昇したため、売買価格差は6.8千円（21.9%）拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比2,300百万円（7.4%）増収の33,272百万円、営業利益は同1,836百万円（94.9%）増益の3,769百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナムと米国で事業を展開しております。

ベトナムにおいては、引き続き競合環境は厳しいものの、前期第4四半期における原材料調達に関する一時的な混乱が収束し、製品市況も反転したことなどから業績は概ね堅調に推移しました。米国においては、天候不順の影響等により製品出荷量が減少しましたが、製品市況は調整局面にありながらも依然として高値圏で推移したことから業績は好調でした。

以上の結果、売上高は前年同期対比9,770百万円（54.0%）増収の27,850百万円、営業利益は同448百万円（114.9%）増益の838百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、引き続き高付加価値処理案件の獲得に積極的に取り組み、売上高は前年同期対比11百万円（0.7%）減収の1,671百万円、営業利益は同18百万円（6.9%）増益の287百万円となりました。

④ その他

当事業部門については、国内子会社を通じて土木資材の販売および保険代理店業等を行うほか、ベトナムで港湾事業を展開しております。売上高は前年同期対比40百万円（43.4%）増収の131百万円、営業利益は同47百万円増益（前年同期は34百万円の損失）の14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,601百万円（1.0%）減少し、160,315百万円となりました。これは、電子記録債権が439百万円、原材料及び貯蔵品が760百万円増加し、現金及び預金が765百万円、流動資産その他が1,944百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,082百万円（1.1%）減少し、98,593百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が1,123百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,682百万円（1.0%）減少し、258,908百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,672百万円（4.6%）減少し、76,228百万円となりました。これは、短期借入金が1,196百万円、未払法人税等が968百万円、流動負債その他が1,309百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて576百万円（2.1%）減少し、27,333百万円となりました。これは、固定負債その他が326百万円増加し、長期借入金が851百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,248百万円（3.9%）減少し、103,561百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,566百万円（1.0%）増加し、155,346百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益2,863百万円、剰余金の配当1,304百万円、非支配株主持分の増加85百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.8%から、56.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間につきましては、国内鉄鋼事業においては、引き続き製品価格の維持を図るとともに、製造コストの削減に努めます。一方、鉄スクラップ価格は当初計画を下回る水準で推移すると見込まれることから、利益面において当初計画を上回る見通しです。海外鉄鋼事業については、米国は好調な鉄鋼需要動向を背景に好調に推移しており、ベトナムでは南北で業況にばらつきがあるものの、全体として当初計画を上回る見込みです。

このような情勢を踏まえ、2019年4月26日の「平成31年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想を変更いたします。

なお、通期業績予想につきましては、現時点で事業環境を見通すことが困難であるため、据え置きといたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,133	41,368
受取手形及び売掛金	48,845	49,030
電子記録債権	14,854	15,292
有価証券	4,400	3,800
商品及び製品	26,360	26,759
原材料及び貯蔵品	18,535	19,295
その他	7,289	5,345
貸倒引当金	△500	△575
流動資産合計	161,916	160,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,028	20,773
機械装置及び運搬具(純額)	34,980	33,857
土地	24,249	24,260
その他(純額)	1,360	1,923
有形固定資産合計	81,617	80,812
無形固定資産		
のれん	3,944	3,848
その他	2,565	2,498
無形固定資産合計	6,508	6,346
投資その他の資産		
投資有価証券	8,120	8,270
その他	3,493	3,228
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	11,549	11,434
固定資産合計	99,674	98,593
資産合計	261,590	258,908

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,816	17,991
電子記録債務	4,673	4,479
短期借入金	40,857	39,661
1年内返済予定の長期借入金	3,861	3,861
未払法人税等	2,053	1,085
賞与引当金	718	539
役員賞与引当金	2	1
その他	9,920	8,611
流動負債合計	79,900	76,228
固定負債		
長期借入金	24,069	23,218
繰延税金負債	730	672
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	12	12
退職給付に係る負債	74	81
その他	591	917
固定負債合計	27,909	27,333
負債合計	107,809	103,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,141	21,141
利益剰余金	98,550	100,144
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	136,507	138,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	828
繰延ヘッジ損益	32	△26
土地再評価差額金	4,625	4,625
為替換算調整勘定	1,251	1,252
退職給付に係る調整累計額	206	109
その他の包括利益累計額合計	6,900	6,787
非支配株主持分	10,374	10,459
純資産合計	153,781	155,346
負債純資産合計	261,590	258,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	50,826	62,925
売上原価	45,164	54,654
売上総利益	5,662	8,270
販売費及び一般管理費	3,483	3,673
営業利益	2,179	4,598
営業外収益		
受取利息	130	184
受取配当金	89	82
持分法による投資利益	61	125
その他	67	56
営業外収益合計	347	448
営業外費用		
支払利息	335	536
為替差損	22	173
その他	29	12
営業外費用合計	386	722
経常利益	2,139	4,324
特別利益		
固定資産除売却益	5	1
段階取得に係る差益	549	—
受取保険金	47	36
その他	—	5
特別利益合計	601	42
特別損失		
固定資産除売却損	55	32
災害による損失	—	21
PCB廃棄物処理費用引当金繰入額	—	46
その他	0	19
特別損失合計	55	119
税金等調整前四半期純利益	2,685	4,247
法人税等	625	1,237
四半期純利益	2,060	3,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,985	2,863

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,060	3,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	43
為替換算調整勘定	△1,278	1
退職給付に係る調整額	1	△98
繰延ヘッジ損益	174	△40
その他の包括利益合計	△1,262	△94
四半期包括利益	798	2,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,202	2,750
非支配株主に係る四半期包括利益	△404	167

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

一部の在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第1四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

（セグメント情報等）

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	30,972	18,079	1,683	50,734	92	-	50,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	338	339	58	△397	-
計	30,973	18,079	2,021	51,073	149	△397	50,826
セグメント利益又は損失（△）	1,933	390	268	2,592	△34	△379	2,179

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益又は損失（△）」の調整額△379百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△396百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益又は損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

2018年5月14日にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化いたしました。これにより、海外鉄鋼事業セグメントにおいてのれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては3,683百万円であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	33,272	27,850	1,671	62,793	131	-	62,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	-	288	303	93	△396	-
計	33,287	27,850	1,959	63,096	225	△396	62,925
セグメント利益	3,769	838	287	4,894	14	△310	4,598

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益」の調整額△310百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△314百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化したことに伴い、暫定的に算出されたのれん5,089百万円を計上していましたが、前連結会計年度末に取得原価の配分が完了したことから、3,683百万円に変動しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第1四半期連結累計期間ののれんの金額の重要な変動は、当該見直し後のものを記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。